

国際開発・国際協力のリーダーをめざす人材を募集します

公共政策 プログラム

国際協力コース

政策研究大学院大学(GRIPS)では、2020年4月から、公共政策プログラムの中に新たに「国際協力コース (International Cooperation Concentration)」を開設します。地球的規模で持続可能な開発目標(SDGs)の達成が求められる中で、このコースは、中央省庁、地方自治体、国際機関、NPO、民間企業等において、国際開発・国際協力の分野で指導的役割を果たす人材の養成を目的としています。

プログラムの特徴

- 高度開発人材として求められる専門的知識の習得と修士号の取得
- 開発途上国からの留学生(その多くは行政官等)と共に学ぶ機会の提供
- 開発分野において我が国トップクラスを誇る優れた教授陣

履修科目

公共政策プログラムの必修科目・選択必修科目に加え、以下の国際開発関係の科目を履修

- Empirical Study of Asian Development
- Trade and Industrial Development
- Theoretical Foundation of Economic Policy
- Economic Development of Southeast Asia

概要

学位	修士(政策研究)
教授言語	日本語及び英語
就学期間	原則1年(4月~3月)
募集人数	若干名
	中央省庁や地方自治体、国際機関、NPO、民間企業等に
対象者	おいて、国際開発・国際協力の分野で指導的人材となる
	ことを希望する者
選抜方法	書類審査及び面接
学費	検定料 30,000円、 入学料282,000円、
	授業料535,800円(年間)





学習環境

キャンパスは東京都心・六本木に位置し、全学生の約3分の2が留学生という極めて国際的な環境です。英語による科目の履修を通じて、世界各国の政府部門で働くミッドキャリアである留学生達との政策議論が可能です。また、交流イベント等を通じた学生間の国際交流も積極的に支援しています。このような環境を通じて、修了後のキャリアにおいても貴重な財産となる人的ネットワークを構築できます。

■ 出願から就学までのスケジュール



主要な教授陣

中垣陽子教授(コースディレクター、経済学)、山内慎子 准教授(副ディレクター、応用ミクロ経済学)、大野健一 教授(国際開発)、高橋和志教授(開発経済学)、木島 陽子教授(開発経済学)、Estudillo Jonna教授(ジェン ダー)、工藤年博教授(アジア地域研究)、高木佑輔准教 授(アジアの政治)

よくある質問

- Q. 国際協力コース修了証と学位の関係を教えてください。
- A. 公共政策プログラムの修了要件を満たすとともに、 国際協力コースで指定科目として定める5科目を 履修した者には、修士(政策研究)の学位に加え、国際 協力コース修了証(Certificate)が授与されます。
- Q. 本コース修了後、どのような博士課程への進学が想定 されますか?
- A. GRIPSには、国際開発分野の博士課程としてG-cube-IDS (GRIPS Global Governance Program-International Development Studies Concentration)があり、国際協力コースの修了者も応募することができます。
- Q. GRIPSではどのような年代の学生が学んでいますか?
- A. 20代後半~30代の幅広い層の学生が学んでいます。
- Q. 寮はありますか?
- A. お台場又は中野の国際学生寮に、留学生をサポート するレジデントアシスタントとしてご入居いただけ ます(選考あり)。月額家賃56,000円~、家具家電付。
- Q. 学費以外に必要となる経費はありますか?
- A. 学研災等の保険および院生会費6,000円(年間)等が あります。

お問合わせ 国立大学法人政策研究大学院大学 アドミッションズオフィス

Tel. 03-6439-6046(直通) Fax. 03-6439-6050(受付9:00~12:00、13:00~17:00 土・日・祝を除く) 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1